



朗V連ニュース

ポシエツト

No.141

発行日 平成29年 7月 7日

発行 兵庫県朗読ボランティア連絡会
神戸市中央区神若通5丁3番26号
(中山記念会館内 神戸ライトセンター)

平成29年度 第31回 朗V連代表者会開催

5月19日(金)午前10時半から神戸ライトセンター2F多目的室(中山記念会館内)に於いて第31回朗V連代表者会を開催しました。参加は17グループ、委任状8グループ、合計25グループ。ご多忙の中、来賓として公益財団法人中山視覚障害者福祉財団事務局長 松前篤志氏のご臨席を賜りました。

鈴木由子代表幹事の挨拶に始まり、松前氏からは、ワンダフルフェスタの出演者がさだまさし氏に決定したことや、9月30日に中山財団が20周年を迎えることもあり、KLCコンサートは兵庫芸術文化センター管弦楽団のフルオーケストラの演奏でクラシック音楽を堪能していただくなど、今年度事業のご紹介がありました。1年経って「朗V連」という言葉もわかり、これからは相談を受けたり話をしたりして情報交換をしたいとの心強いお言葉をいただきました。

議事に入り、議長に洲本市「潮騒」の瀬戸由美子様、書記には篠山市「山うぐいす」の井塚八重子様を選出して、平成28年度事業報告、決算及び監査報告に続き平成29年度役員が選出されました。新代表幹事に池田くみ子が決まり、新幹事7名の紹介の後、事業計画案、予算案など、代表の皆様により全ての議案が承認されました。

皆様のご協力のもとスムーズに議事が進行し、無事に終えることができました。

平成29年度は25グループでのスタートとなりましたが、より良いボランティア活動を目指して、ご協力のほどお願い申し上げます。

♡♡♡ 退任幹事 挨拶 ♡♡♡

鈴木由子(代表幹事) 篠山市 朗読ボランティア 山うぐいす

昨年、代表幹事のお役目をいただいた時は不安で一杯でしたが、何とか30周年記念行事も皆様のご協力のお陰をもちまして無事に終えることができました。また色々活動をしていく中で沢山学ばせて頂くことも多く、今振り返ってみますと、よい経験をさせていただいたと思っています。

幹事の皆様、朗V連の皆様に支えられた2年間でした。

新たな朗V連の発展を祈りながら退任できますこと心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

吉住ミチエ(副代表) 南あわじ市 グリーンポエム

朗V連設立20周年、30周年の節目の年に、躊躇しながらも幹事を引き受けました。副代表、KLC関連を担当させて頂き、たくさんの事を経験、学ばせていただきました。健康面で不安を抱

えての2年間、「自分らしく、活動が出来たか？」と問われれば、？ですが……。皆さんに助けをいただいで、やっと卒業することが出来ました。感謝！感謝です。

大永親子（書記） 明石市 明朗会

明朗会で朗読ボランティアを始めて2年。この世界ではまだまだ「ひよっこ」の私が、こともあろうに県の朗V連のお世話幹事に！ 経験なし、知力・体力自信なし、誰がなんと言おうと気も弱い。でも開き直りの速さには少々自信あり！泣いても笑っても同じ2年間なら、楽しんでやろうと覚悟を決めました。終わってみれば、30周年行事に向けて、新しいメンバーと共に取り組んだ数ヶ月間の充実した日々は、ハラハラドキドキの花まるの思い出に……。

山本文子（ポシエット） 加西市 かしの実グループ

プレゼンで、日本を「おもてなし」の国と主張し、東京にオリンピック招致を成功に導いたのは記憶に新しいですが、日本には、よく似た言葉に「おもいやり」があります。自分より1歳でも2歳でも年上の方を見ていて、さて、こんな事が半年後、1年後の自分にできるだろうか？って思うことが近頃よくあるのです。そして、お元気で、尚且つそれができていらっしゃる方を見ますと、ただただ尊敬し「おもいやり」の気持ちが湧いてきます。そして、自分が今、できていることがあるならその事に感謝するだけです。他人を「おもいやる」とは、とてもステキなことです。「おもいやり」これで大阪に万博も招致できるかもしれませんね。

♡♡♡ **平成29年度幹事 7名で頑張ります** ♡♡♡

池田くみ子（代表幹事） 神戸市 花いかだ

昨年何も分からないまま幹事になり、あっという間に一年が過ぎましたが、30周年記念交流会、月々の幹事会、KLC関連行事等、先輩幹事さんに色々と教わりながら楽しく活動させて頂きました。が、この4月頃から「不安と緊張が…」でも「やるしかない！」

素敵な仲間6人と助け合い、協力し合いながら、これからの一年、私なりに精一杯頑張ろうと思っております。行き届かない点も多々ある事かとは存じますが、各グループの皆様方の御協力があってこそこの活動ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

茨木万記子（副代表） 西宮市 トビアの会

不安で一杯の一年目。私で務まるのかと思いながら必死で突っ走って参りました。昨年11月には30周年記念交流会を身の丈に合った心尽くしの素敵な会に出来ました事、一先ずホッとしております。これも先生方、諸先輩方と加盟グループの皆様のお力添えが有ったの事と感謝申し上げます。又、この度退任されます4名の先輩方が、新参者の色々な発想や閃きを広いお心で温かく優しく受け止めてくださった事に感謝の気持ちで一杯です。和気藹々と楽しい学びの時間を有難うございました。

忙しく大変な事も成し遂げた後の達成感にはかえられません。この喜びを胸に、今度は副代表と

して新たな一步を踏み出したいと思います。至らぬ事が多々あろうかと思いますが、先輩方を見習い新幹事の皆さんと共に生き生き活動して参りたいと思います。今後とも末長く皆様のお力添えを宜しくお願い致します。

岡田徳子（書記） 加古川市 ほほえみ

あ〜っという間に過ぎた一年でした。エクセルがわからないままスタートした会計の仕事と 30周年という目の前の大きな行事に、不安は増すばかり。でも、素晴らしい先輩幹事と仲間恵まれ、「チームワークの良さとやる気」で乗り切ることが出来ました。

今年度はちょっとした実験の年。うっかりミスのないよう丁寧に、且つ前向きに取り組んでいきたいと思っています。

玉田礼子（ポシエット） たつの市 せせらぎ

不安いっぱいスタートした1年前。30周年記念交流会があると聞いてびっくり！しましたが、先輩幹事の方々に頼りに、分からないながらもあれこれ考えて準備し、皆様の御協力のお陰で無事終わった時は不思議な充実感を得ることが出来ました。

2年目もポシエットを担当させて頂きますが、昨年までと発行月が異なるため、抜けたり間違えたりしないよう、緊張感をもって編集にあたりたいと思います。よろしくお願い致します。

坂口幸子（会計） 高砂市 むつみ会

所属のグループの中でもまだまだひよこの私に朗V連の幹事が務まるか不安ではありますが、勉強させて頂くという思いだけで務めさせてもらおうと思います。よろしくお願い致します。

馬居理子（ポシエット） 洲本市 樫の木グループ

このたび朗V連の幹事の役を仰せつかり、活動の内容もよくわかっていないままのスタートで不安と緊張を感じています。本当に大丈夫なのかしら・・・？しかし実は楽観主義。未熟な自分を鍛えるつもりで頑張っていきたいと思います。皆様どうぞよろしくお願い致します。

藤田由子（発送） 神戸市 わっしょいわっしょい

正直、幹事役がまわってくる前に退会への話し合いもありましたが、結果、何も出来ない私がお引き受けすることになり、大変恐縮しています。まだまだ不安でいっぱいですが、皆様の足を引っ張らないように努力していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

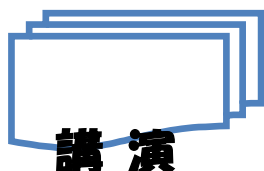
昼食後の懇談会



昼食後、1時間足らずの短い時間でしたが、主に「朗V連の現状と今後の朗読ボランティア活動の方向性」というテーマで、参加されたグループの皆さんから出された課題も合わせて話し合いました。また、講師さんへの質問事項についても意見交換し、有意義な時間を過ごすことができました。

懇談内容から

- ・デジ化の際は大変お世話になったが、デジの浸透により朗V連からの情報収集のメリットがなくなってきた。
 - ・発足当時1000人以上の会員がいたが、30年経ちボランティア会員とリスナーの高齢化による減少傾向が深刻になってきている。
 - ・年に一度でも会員同士が顔を合わせ情報交換できることは意味深い。
 - ・ポシットを通じて情報交換し、ボランティアグループ相互の助け合いが出来ることは有難い。
 - ・助成金が減額され困っている。⇒助成を受けられる団体があるようだ。イオンのイエローレシートを活用する方法もあるのでは。
 - ・視覚障害者に特化したボランティア活動から、時代のニーズに合わせて目線を広げていく必要がある。
 - ・神戸に近いグループの方にできる限り幹事として出て来ていただけたらありがたい。
 - ・10年ほど前に神戸近辺のグループに幹事をお願いするやり方をしていたが、反対意見が出てきて今の形になった。
 - ・年度はじめなどに、幹事以外で活動に協力して下さる方を広く募集してはどうか。
 - ・行事を縮小化するなど見直しを図り、事務局として、主に情報発信に終始したらどうか。
(事務局にしてしまったらダメ!という反対意見も・・・)
 - ・せっかくブロックに分けているのだから、定期的にブロックごとの会議・交流会等計画してほしい。
- ※貴重なご意見をありがとうございました。より良い方向を模索しながら出来ることをやっていきたいと思っております。



講演

演題 「朗読ボランティアと著作権」

講師 南 亮一 氏 (元日本図書館協会著作権委員会委員)

講師の南亮一氏には、日本図書館協会著作権委員会の委員や国会図書館関西館で学術文献の録音図書を音声デジで製作も手掛けられ「図書館と著作権」についてずっと活動をされてきた立場から、個人的な見解としてのお話をいただきました。

☆講演会内容から☆

{著作権とは}

「著作物」を、その作者(著作者)に無断で使用出来ないようにするため設けられている権利の

ことで、本の作者や楽曲の作曲家の収入源を確保し、勝手に改編出来なくするためのものであるということから

- *小説（言語の著作物）
 - *雑誌（記事）（言語の著作物）
 - *ノンフィクション（言語の著作物）
 - *取扱説明書（言語の著作物）
- これらは著作物として保護されるものである。

{権利制限規定}

著作権法の中に（条約によって許される範囲内で）「権利制限規定」と呼ばれる「例外規定」が数多く置かれ、一定の例外的な場合には、権利者の了解を得ずに著作物等が無断で利用できることとされている。（子供のお絵描き、個人的なテープのダビング、学校の授業でのプリント配布や引用、学校行事などでの演奏や朗読など）

対面朗読のように特定の人・特定の数人を対象に行う時は問題ない。（非営利・無料のみ）

{朗読ボランティアと著作権}

音訳の場合、読んで→録音することなので、一般的には朗読は「口述」に該当するため著作権としての口述権の対象になると言われていて、録音することも「複製」に該当し「複製権」の対象になり、また読みも正確でなければ「同一性保持権」を侵害するとされる。

{朗読ボランティア活動で注意すべきことは？}

- ① 政令で定める者」として文化庁長官の指定を受ける。
 - ② 点字図書館、公共図書館の活動に協力する形態をとる。
 - ③ 視覚障害者等本人の手足として製作する。
- （プライベートサービスのみで複製は不可）
- この3つの条件のうちいずれかを満たしていると、無許諾で音訳することが出来る。

{権利制限規定に当てはまらない場合}

- *自由利用を認める表示（例アイマーク）があるものを使う場合。
 - *使うものの著作権が消滅（保護期間（死後50年で消滅）が満了）している場合。
 - *著作権の対象となっていないもの。（公的機関作成の著作物の一部・特定の国の著作物）
- これらは許諾を得る必要がない。

{質疑応答}

Q：新聞についてはどうか？

A：新聞社によって温度差があり、各社問い合わせてみないとわからない。

Q：図書館を通してなら…と聞いたが、図書館で借りた本を音訳して録音したものを視覚障害者の1個人でなく団体に渡すというのはどうか？

A：そういう意味では当てはまらない。図書館が制作の主体であり、図書館の予算や決定で制作する。その場合図書館からの依頼でボランティアとして協力をするという形態であれば良い。

Q：朗読会の会費の徴収はどうか？会場費や資料費などの実費だけでも徴収してはいけないのか？

A：営利目的としないこと、聞く人から集金しないことが要件となっており、それは実費も含まれている。

etc. 講演後は様々な質問に答えていただきました。

結論→原則として著作権者からの許諾が必要である。

ただし著作権は条件つきで緩和される動きがあり、何年か後に法改正がされる可能性もでてきている。

早く緩和されるといいですね。

代表者会・研修会のアンケートより

- ☆ 著作権に関する専門家である南氏の講演はとても良かった。講師の説明を資料に書き加えたかったが、暗くて何も見えず残念でした。少しあかりがあってもよかったのでは？
- ☆ グループ討議で、デジ化の話、資金繰りの話、著作権関連の話等、参考になる意見が聞けて良かったです。グループ討議の時間がもっと長くても良かったと思います。

- ☆ 今回の著作権に関するお話がとても参考になり、“光が見えてきた”かもしれないと思いました。これこそがこの会のあるべき姿かな、と・・・
- ☆ 朗V連が立ち上がった当初は兵庫県下で情報収集の差があるという問題を解決するのが大きな目的でした。時代の進歩とともに活動の在りようも時代に合わせていくべき。利用者及びボランティアの高齢化など諸問題に対して先を見て広く視野を広げての活動を期待します。 etc.

《代表者会に参加して》

総会はスムーズに終了。その後4グループに分かれて昼食と懇談会が行われました。朗V連への参加グループと幹事を引き受けてくれるグループが減少する現状をどのようにすれば良いか今後の活動の方向性について話し合いました。

午後の研修会は「朗読ボランティアと著作権」の講演があり、インターネットで著作権について検索できるサイトなど具体的に教えていただきとても参考になりました。著作権は朗読する上で避けて通れない問題で、皆さん熱心に質問されていました。

朗V連代表者会には初めて参加しましたが、各グループの方と情報交換もできて大変有意義でした。また幹事さん達のご苦勞も分かり、今まで朗V連への関心が薄かったこと反省しきりでした。幹事の皆様ありがとうございました。

朗読ボランティアグループ 花いかだ 大高 良子

「中山ワンダフルフェスタ Vol. 20」のお知らせ

開催日 平成29年10月6日（金）
会場 神戸国際会館 「こくさいホール」
出演者 さだ まさし
開演 14時45分（開場は14時、コンサート開始予定は15時、終了予定は18時）



※チケットを希望されるグループは、別紙の申込書に枚数を記入の上、同封の返信用封筒にて8月25日（金）必着でお申し込み下さい。9月にチケットを送付します。チケットは各グループの申し込み状況により配分させていただきます。チケットには限りがありますので枚数につきましてはご希望に添えない場合もありますが、ご了承ください。

神戸ライトセンターまつりに参加して

KLC まつりの朗読の参加依頼をいただいた時、私の頭には、ぜひ読みたい物語が浮かびました。摂津国菟原郡、処女塚古墳にまつわる悲しい伝説です。ただ、あまりにも古いお話なので、朗読の前に一人語りとして物語の説明をさせていただくことにしました。

伝説の舞台は生田川東岸、川からはそう遠くない場所。まさに中山記念館が建っているあたりです。こんな御当地で、満員のお客様の前でこの物語を読める幸せをかみしめつつ、楽しんで朗読しました。「長き世の語りにしつつ」「語り継ぎ俣び継ぎくる」と詠んだ万葉人の心を、わずかでも繋げたような気持ちになりました。

このような機会を与えて下さったことに感謝いたします。ありがとうございました。

トビアの会 阪上 裕子

第31回兵庫県朗読ボランティア交流会のおしらせ

日時： 2017年11月14日（火）13:00～16:00 （12:30開場）

場所： 新長田 ピフレホール

内容： ♪「おはなし二人三脚」による 朗読「あらしのよるに I・II部」

村上知佐子さんと中藪隆子さんのお二人による 絵本と点字の掛け合い朗読を行います。この作品は全7巻からできており、9年前に2巻まで上演していただきました。今回は全巻を朗読していただきます。

♪「劇団道化座」による ひとり語り「字のない葉書」（向田邦子エッセイより 作：おおやかづき） & ワークショップ

語って下さる馬場晶子氏は、道化座の代表理事でもあります。

また、「おおやかづき」として、たなかとも原作「ともちゃんち」等、近年、劇作・演出も手掛けられています。

劇団道化座プロフィール

1950年創立。当初はシェークスピア等の古典劇を中心に上演。1980年以降は座付き作家・渡辺鶴の創作劇を中心に児童劇から大人の演劇まで幅広く展開する。訪中公演、訪韓講演や「アジア演劇祭 in 関西」の開催に尽くす等、長年アジアの国々との交流に努めている。(劇団道化座のHPより抜粋)

会費： 会員 800円 (当日券 1,000円)
非会員 1,000円 (当日券 1,200円)
リスナー・ガイドヘルパー 400円 (当日券 500円)

申込み： 同封の別紙参加申込書にグループの参加人数を記入のうえ、**8月25日(金)**までに返信用封筒にてお申込み下さい。後日、振り込み依頼書をお送りします。入金確認後、入場券を送付いたします。
8/26以降の申し込みについては当日券扱いとなります。

☆☆☆NHK巡回朗読セミナーのご案内☆☆☆

今年も恒例の秋の巡回朗読セミナーが開催されます。

ポシエット140号でお知らせしたように、今年度より受講を希望される方は個人での申し込みをお願いいたします。8月上旬に詳しい案内が出るようなので、NHK放送研修センターのホームページ等でご確認ください。(過去3年間に受講経験がある方にはNHKから案内が届くそうです。)

アイライトフェア2017のお知らせ

日時： 2017年10月8日(日)
場所： 神戸市立葺合文化センター (神戸市中央区旗塚通4-4-1)
※詳しい内容については、後日お知らせいたします。

檜の木グループ(洲本市)が平成28年度「ともしびの賞」受賞

兵庫県より第42回 平成28年度「ともしびの賞」を受賞。
平成28年12月6日(火)兵庫県立美術館にて贈呈式がありました。
この賞は地域文化の向上に努力した個人、団体に与えられる賞で、永年にわたり視覚障害者のための朗読ボランティアに取り組むとともに朗読劇や録音体験会を開催し障害者支援の輪を広げるなどの活動が評価されました。

依頼図書一覧表

朗V連が音訳図書の依頼を受け、次のグループの皆さんにデジタイズ録音・作業等をお願いしました。ご協力ありがとうございました。

